

殺虫剤

アルバリン顆粒水溶剤

ジノテフラン水溶剤

平成24年4月26日付けで以下の通り適用拡大されました。

<変更内容>

- 作物名に「にら」「アスパラガス」「ズッキーニ」「なばな類」「非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)」「かんしょ」「キウイフルーツ」「びわ」を追加する。
- 「にんじん」の株元灌注の使用時期を「生育期 但し、収穫21日前まで」に変更する。
- 「にんじん」の散布の使用時期を「収穫7日前まで」に変更する。
- 「リーフレタス」、「非結球レタス(リーフレタスを除く)」を統合し、作物名「非結球レタス」とし、「非結球レタス」の使用方法に「灌注」を追加し、「散布」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「レタス」、「非結球レタス」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「4回以内(は種前の培土混和は1回以内、育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内、散布は2回以内)」に変更する。
- 「だいこん」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「5回以内(は種時の粒剤の播溝土壌混和は1回以内、は種時の粒剤の全面土壌混和は1回以内、生育期の粒剤の散布は1回以内、生育期の水溶剤の散布は2回以内)」に変更する。
- 「きゅうり(葉)」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「きゅうり(花)」の使用時期を「収穫前日まで」に変更する。
- 「食用カーネーション」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「食用トレニア」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「しそ(花穂)」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「うめ」、「小粒核果類(うめを除く)」を統合し、作物名「小粒核果類」とし、「小粒核果類」の使用時期を「収穫前日まで」、本剤の使用回数及びジノテフランを含む農薬の総使用回数を「3回以内」に変更する。
- 「ぶどう」の使用方法「散布」において、使用時期を「収穫前日まで」、本剤の使用回数を「3回以内」に変更する。
- 「ぶどう」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「3回以内(塗布は1回以内)」に変更する。
- 「みかん」と「かんきつ(みかんを除く)」を統合し、作物名「かんきつ」とし、「かんきつ」の使用時期を「収穫前日まで」、本剤の使用回数及びジノテフランを含む農薬の総使用回数を「3回以内」に変更する。
- 作物名「しそ科葉菜類(はっか、バジルを除く)」と「はっか」を統合し、作物名「しそ科葉菜類(バジルを除く)」とし、使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「バジル」の使用時期を「収穫3日前まで」に変更する。
- 「とうがらし類」の適用病害虫名に「コナジラミ類」を希釈倍数「2000～3000倍」で追加する。
- 「にがうり」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)」に変更する。
- 「だいこん」の適用病害虫名「アブラムシ類」の希釈倍数を「3000倍」から「2000～3000倍」に変更する。

- 「だいこん」の適用病害虫名に「キスジノミハムシ」を希釈倍数「1000 倍」で追加する。
- 「かぶ」の適用病害虫名に「キスジノミハムシ」を希釈倍数「2000 倍」で追加する。
- 「ねぎ」の適用病害虫名に「シロイチモジヨウ」を使用「灌注」で追加する。
- 「ねぎ」のジノテフランを含む農薬の総使用回数を「4 回以内 (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計 1 回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計 2 回以内)」に変更する。

下線が変更部分、太字が拡大部分です。

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
とうがらし類	—	アブラムシ類	3000倍	100～300L /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	4回以内 (育苗期の株元散布及び定植時の土壌混和は合計1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
		コナジラミ類	2000～3000倍					
にがうり	—	アサミウマ類	2000倍	100～300L /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	<u>3回以内</u> (<u>定植時の土壌混和は1回以内</u> 、 <u>散布は2回以内</u>)
		コナジラミ類	2000倍					
ズッキーニ	—	アブラムシ類	2000倍	100～300L /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
レタス	—	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300L /10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	<u>4回以内</u> (<u>は種前の培土混和は1回以内</u> 、 <u>育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内</u> 、 <u>散布は2回以内</u>)
		アブラムシ類 ナモグリハエ	50～100倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
非結球レタス	—	アブラムシ類	2000～3000倍	100～300L /10a	<u>収穫3日前まで</u>	2回以内	散布	<u>4回以内</u> (<u>は種前の培土混和は1回以内</u> 、 <u>育苗期の株元散布、定植時の土壌混和及び育苗トレイへの灌注は合計1回以内</u> 、 <u>散布は2回以内</u>)
		アブラムシ類 ナモグリハエ	50～100倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	
非結球あぶらな科葉菜類 (チンゲンサイを除く) なばな類	—	アブラムシ類	3000倍	100～300L /10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		キスジノミハムシ	2000倍					
かぶ	—	アブラムシ類	3000倍	100～300L /10a	収穫3日前まで	2回以内	散布	3回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		キスジノミハムシ	2000倍					

作物名	適用場所	適用病虫害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
だいこん	—	アブラムシ類	<u>2000～3000倍</u>	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	<u>5回以内</u> (は種時の粒剤の播溝土壌混和は1回以内、は種時の粒剤の全面土壌混和は1回以内、生育期の粒剤の散布は1回以内、生育期の水溶剤の散布は2回以内)
		キスジノミハムシ	1000倍		収穫3日前まで			
ねぎ	—	アザミウマ類	2000倍	セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm・使用土壌約1.5～4.0L)当り0.5L	定植前日～定植時	1回	灌注	<u>4回以内</u> (は種時の土壌混和、育苗トレイへの灌注及び定植時の株元散布は合計1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布及び定植後の株元散布は合計2回以内)
		アザミウマ類 ネギハモグリハエ シロイモジヨトウ	50倍					
		アザミウマ類 ネギハモグリハエ トビイロヒョウタンゾウムシ	400倍					
にら	二	ネギアザミウマ	400倍	0.4L/m ²	生育期 但し、収穫 14日前まで	1回	株元 灌注	3回以内 (生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		ネギアザミウマ アブラムシ類		100～300L/10a		2回以内		
アスパラガス		コナジラミ類 アザミウマ類 ジュウシホシクビナガハムシ	2000倍	100～800L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
にんじん	—	アブラムシ類	2000倍	100～300L/10a	<u>収穫7日前まで</u>	2回以内	散布	4回以内 (は種時の土壌混和は1回以内、生育期の株元灌注は1回以内、散布は2回以内)
		トビイロヒョウタンゾウムシ	400倍	0.4L/m ²	<u>生育期 但し、収穫 21日前まで</u>	1回	株元 灌注	

作物名	適用場所	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
かんしょ	—	コナジラミ類	2000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	1回	散布	1回
ぶどう	—	フタテンヒメヨコバイ	3000倍	200～700L/10a	—	—	—	3回以内 (塗布は1回以内)
		カメムシ類 フトウトラカミキリ	2000倍					
かんきつ	—	チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類	1000～2000倍	200～700L/10a	—	—	—	3回以内
		チャノキイロアザミウマ コナカイガラムシ類 ゴマダラカミキリ	1000～2000倍 1000倍					
かんきつ	—	アブラムシ類 ミカンハモグリハガ カメムシ類 コアオハナムグリ ケシキスイ類 ミカンハエ アカマルカイガラムシ ヤノネカイガラムシ サンホーセカイガラムシ ミカンキジラミ コナジラミ類 チャバドリヒメヨコバイ	2000倍	200～700L/10a	—	—	—	3回以内
		アブラムシ類 カメムシ類	—					
小粒核果類	—	アブラムシ類 カメムシ類	—	—	—	—	—	—
キウイフルーツ	—	カメムシ類	1000～2000倍	200～700L/10a	—	—	—	3回以内
びわ	—	カメムシ類	2000倍					
きゅうり(葉)	—	アブラムシ類 コナジラミ類	3000倍	100～300L/10a	—	—	—	2回以内
きゅうり(花)	—							
しそ(花穂)	—	アブラムシ類	3000倍	100～300L/10a	—	—	—	2回以内
しそ科葉菜類 (バジルを除く)	—							
バジル	—	アブラムシ類 コナジラミ類	—	—	—	—	—	—
食用カーネーション	—	アブラムシ類	—	—	—	—	—	—
食用トレニア	—	コナジラミ類	—	—	—	—	—	—

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
ぶどう	コナカイガラムシ類	20～40g /樹	幼果期まで 但し、収穫30日 前まで	1回	本剤1g当り水1mLの割合で混合し、主幹から主枝の粗皮を環状に剥いだ部分に塗布する。	<u>3回以内</u> (塗布は <u>1回以内</u>)

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

アグロ カネショウ株式会社